

記事解禁
政府予算案閣議決定後

平成23年度政府予算案に関する知事コメント

平成22年12月24日
奈良県知事 荒井正吾

- 本日、閣議決定された政府予算案については、政権交代後、新政権がゼロから取り組まれた最初の本予算であり、依然として厳しい経済情勢の中、財源確保に腐心されながら、デフレ脱却と新成長戦略の実現を目指して編成されたものであると考えています。
- 地方財政対策に関しては、地方交付税の増額等により、一般財源総額が前年度並みに確保されたことは、評価できる。
また、地域の自由裁量を拡大するため「地域自主戦略交付金」（仮称）が創設されましたが、地域間格差の是正に資するような制度設計が行われることを期待します。
- 国家的行事として、本年開催された平城遷都1300年祭に関して、政府のご支援ご協力をいただいたことに感謝とお礼を申し上げます。今後も平城宮跡が多くの国民に奈良時代の歴史を感じていただける場所となるよう、国営「平城宮跡歴史公園」として着実な整備が進められることを期待しています。
- 政府予算案の詳細はまだ十分に把握できていませんが、今後とも情報収集に努めるとともに配分額の確保に取り組んでいきます。

※奈良県関連の予算案の詳細については、把握できた分について、追って情報提供します（次回12月27日(月)午後予定）。